

1. ダム通砂／排砂運用実施概要

①出水の概要

- ・台風7号および梅雨前線の影響により、球磨川流域では2018年7月2日より雨が降り始め、期間中の瀬戸石ダム流域における最大雨量は、多良木地点における時間雨量46.5mm(7/7)、五木地点における日雨量186.5mm(7/6)であった。

気象庁雨量データ(8日間総雨量)

観測地点	人吉	山江	五木	多良木	湯前横谷	上	一勝地
総雨量(7/2~7/9)	482mm	585mm	740mm	551mm	632mm	392mm	530mm

- ・その結果、瀬戸石ダムの最大流入量は4,450m³/秒(7/7 11:00)であった。

②通砂／排砂運用概要

- ・2018年7月2日17時00分より瀬戸石ダムの水位を通砂／排砂運用水位に向けて低下開始
- ・2018年7月3日7時00分より、通砂／排砂運用水位を維持
- ・2018年7月3日21時30分に流入量1,720m³/秒となる
- ・その後、流入量が減少したが、梅雨前線の影響による降雨が予想されていたことから通砂／排砂運用水位を維持
- ・その後流入量が増加し、2018年7月7日5時30分より11時30分までの間、自然流下状態(水面より洪水吐ゲート下端が離れ、流入水をそのまま流下させる状態)となる
- ・2018年7月7日11時00分に最大流入量4,450m³/秒となる
- ・その後、流入量の減少により2018年7月9日12時00分に通砂／排砂運用を終了し、瀬戸石ダムの水位を回復

③通砂／排砂実施中の水質、現場巡視結果

- ・通砂／排砂実施中の濁度は、既往の同規模出水時の実績と大きな差はなかった。
- ・通砂／排砂実施中の現場巡視の結果、ダムおよびダム湖の異常等は確認されなかった。

2. 状況写真



瀬戸石ダム通砂／排砂運用中状況(2018年7月7日12時20分、3,880m³/秒 放流状況)